

パジャ・ポス 自立成長促す独自コンサル

## “チームシップ”普及を加速

“組織学習”を特徴とする経営コンサルタント会社のパジャ・ポス（東京都渋谷区）は、同社が提唱する“チームシップ”的醸成と向上を実現するサービス「チームシップ・ディスカバリー・キャンプ（TDC）」の普及を加速する。

“チームシップ”は、チームのメンバー一人一人がお互いを理解し、チームとしての成果のために成長することを目指す考え方。TDCでは、メンバー全員がリーダーシップを発揮する自立成長型の組織構築を目的と

している。

同社はすでに、このサービスをさまざまな企業に提供。2カ月で売り上げが18%アップした、スタッフの平均月間売上高が1.5倍になった、スタッフ全員が納得できる理念をつくることで接客数が15%アップしたといった成果を確認していると

日本で唯一の知的障害女子ソフトボールチーム「武藏野プリティープリンセス」に対しては、社会貢献活動の一環としてこのサービスを無償提供。健常



者の女子中学生チームとの試合で善戦できるところまで組織力を向上できているという。

同社は、こうした成果をより多くの企業や学校などにも体験してもらいたいと考え、普及活

動を加速させることにした。

同社代表の池本克之氏は、書籍『今いる仲間で「最強のチーム」をつくる』（日本実業出版社刊）の著者としても知られる。今回の取り組みについて池

TDCによる指導を受ける知的障害女子ソフトボールチーム「武藏野プリティープリンセス」

本氏は「もはやリーダーシップは時代遅れだ。これからはチームシップが企業などの組織に求められていると確信している」と強調している。

パジャ・ポスは、代表の池本氏が2004年に設立。これまでも企業向けにセミナーやコンサルティング、マネジメント事業などを展開してきた。

池本氏は、複数の会社で経営に携わったほか、年商3億円の会社を同120億円に導いた実績もある。こうした一連の経験から、企業の成長に必要となるエンセンスを抽出し、独自のコンサルティングメソッドとして「組織学習経営」を確立したという。